

平成 26 年 9 月 猪苗代町議会定例会

町長説明要旨

本日、平成 26 年第 5 回猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用の中、ご出席をいただき、ご審議をお願いできますことに対し、深く感謝申し上げます。

今議会が開催されるにあたり、平成 25 年度 歳入歳出決算の認定をはじめ、平成 26 年度一般会計補正予算案など、22 件の議案を提出いたしておりますので、ご審議をお願いいたしますとともに、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

提出議案の説明に先立ちまして、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

（水稲の生育状況について）

はじめに、農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物であります水稲の生育状況については、春先の時点で「エルニーニョ現象」による冷夏が心配されたところですが、梅雨明け以降は連日 好天に恵まれ、気温も平年を上回っていることから順調に推移しているところであります。

国が8月27日に発表した作柄概況によりますと、福島県は「やや良」という予想が出されたところであり、今後の天候にもよりますが、本町では昨年に引き続いたの豊作、そして一等米比率の高位確保ができるものと期待しているところであります。

しかし、昨年に等級落ちの大きな要因となった「カメムシ」による被害は、県による「多発注意報」が発令されるなど、今年も十分な注意が必要な状況となっております。

町は対策として、畦畔の適期草刈りの推進と本年度から独自の補助事業により集団防除を奨励するとともに、JAあいづによる薬剤購入助成も活用して多くの集落で集団防除に取り組んだことから、被害も最小限に抑えられるものと考えております。

また、米をめぐる情勢については、国の「新たな農業・農村政策」による大幅な米政策の見直しが求められており、T P Pについても、これまでの交渉過程や国内外の情勢から判断しますと、参加に向けた動きが加速することが予想されますことから、今後ますます厳しくなるものと捉えております。

町は、引き続き、安全・安心な農産物の生産をはじめ、地域ブランドを確立して、地域間競争を勝ち抜けるようJ Aと連携しながら取り組みを進めてまいっている所存であります。

（有害鳥獣対策について）

次に、有害鳥獣対策について申し上げます。

ツキノワグマ、ニホンザル、イノシシなどの有害鳥獣に対しては、さまざま対策を講じてまいりましたが、本年は例年以上の出没に伴う目撃情報があり、山沿いの集落を中心に農作物等への被害が発生している状況にあります。

特にツキノワグマについては、8月3日に町内で人的被害が発生するなど、7月末日で昨年の年間出没数140件を大幅に上回る177件の出没があり、更に時間帯も昼夜を問わず出没している状況にあります。

そのため、町としましては、有害鳥獣駆除隊の協力をいただきながら、町民の方々のご要望にお応えできるよう、できうる限りの対応を行なっているところであります。

また、電気柵が有害鳥獣から農作物等を守るにあたって大きな効果を発揮することから、行政区におきましては町独自の補助金や、今年度から始まりました「多面的機能支払交付金」を活用していただいて、当初予想を大幅に上回る電気柵を設置しているところであります。

電気柵を設置することにより被害を最小限に防止することができましたので、引き続き設置について推進を図るとともに、鳥獣の出没・被害状況やその後の出没予想等について、メールマガジンによる情報提供とともに、行政区長と連携して様々な取り組みを行なってまいり所存であります。

（観光振興について）

次に、観光振興について申し上げます。

本年４月から６月まで「プレ・デスティネーションキャンペーン」が開催され、さまざまな事業を実施してまいりましたので、取組みの結果と今後の予定について申し上げます。

４月５日に会津若松駅でオープニングセレモニーが開催されたのを皮切りに、５月２１日には「全国宣伝販売促進会議」が、翌日から県内の主要観光地を視察する「エクスカーション」が行われ、私自らが先頭に立って、本町観光のトップセールスを行なったところでございます。

参加の旅行エージェントからのアンケートでは、全員から「よかった」という評価をいただき、今後の商品造成についても「利用を検討する」との回答が約６割を占めました。

今後の予定として、明日東京で「七転び八起き観光キャラバン・旅行会社説明会」が、３日には東武線でキャラバンが開催されることから、職員を派遣し積極的なＰＲを行ってまいります。

県主催による、「全国旅行会社説明会」が１０月に、来年２月には「ＤＣ直前首都圏観光ＰＲキャラバン」等の開催が予定されております。

町は、観光協会と連携し、国内旅行会社への積

極的な誘客宣伝活動を実施し、観光回復の好機となるよう取り組んで参ります。

（風評被害対策について）

次に、本年6月以降の風評被害対策について申し上げます。

「ゴー・アウト・キャンプ猪苗代」が、5月31日から2日間、猪苗代湖天神浜において開催され、天候にも恵まれたことから、来場者は昨年の2倍の約1,800人となりました。

町は「特別協力」として実行委員会に参画するとともに、「風評被害対策事業」として職員を派遣して、来場者に本町産「天のつぶ」のプレゼントや、町内団体による「太鼓の演奏」、

「餅の振る舞い」などの「おもてなし」をおこなったところであります。

イベントの内容は、雑誌など多くのメディアに掲載され、本町の安全・安心を全国に発信することができ、風評被害払拭に大きな効果があったものと捉えております。

次に、先月13日に開催された、「復興 いなわしろ花火大会」は、平成23年度から東日本大震災からの復興並びに風評被害払拭を目的として開催され、今年で4回目を迎えました。

今年は、テーマを「夢」とし、福島の将来を担う子どもや若者に「夢」と「希望」、「元気」を与えるとともに、本町の安全・安心を広く発信することを目的に実施いたしました。

ホームページや新聞、ラジオなどによる事前告知の効果に加え、当日の天候にも恵まれたことから、昼の部のイベントを含めた観覧者数は、県内外から昨年を約2千人上回る15,000人となりました。

来町いただきました皆様に、楽しいひと時を過ごしていただくとともに、本町の自然の美しさと、安全・安心を実感いただけたものと確信しております。

（原子力損害の損害賠償の状況について）

次に、東京電力の町内事業者に対する損害賠償の状況について申し上げます。

東京電力株式会社福島原子力補償相談室からの8月13日付の情報によりますと、本町事業者に対する損害賠償金の支払いは、約83億7千万円となっております。

町東日本大震災風評被害対策会議では、今後も毎月第2、第4木曜日に町商工会で開催される福島原子力補償相談室主催の「相談会」について、町民の皆様にチラシを配布して周知するとともに、県弁護士会などによる相談会の情報を周知して、町内事業者の皆様に損害賠償請求漏れがないよう努めて参ります。

（福島県高等学校駅伝競走大会について）

次に福島県高等学校駅伝競走大会について申し上げます。

男子が第59回、女子が第32回を数える本大会が、10月15日に猪苗代町総合体育館カメリーナをスタートゴールに開催されます。

当町での開催は、平成21年から平成23年までの開催に次ぐ4回目となります。

全国高等学校駅伝競走大会の県予選も兼ねていることから熱戦が繰り広げられることとなります。

本大会は、毎年、40を超える参加校があり、事前練習、事前合宿等で町内に訪れている選手、役員の方も大勢おり、受け入れ態勢を万全にして、「おもてなしの心」をもって対応してまいります。

町としては、コースなどハードの部分の支援を進め、大会運営役員等の人的支援も行っていく考えであります。

（猪苗代湖ハーフマラソン 2014 について）

次に「猪苗代湖ハーフマラソン 2014」について申し上げます。

今年で 4 回目となる「猪苗代湖ハーフマラソン」は、11 月 2 日に猪苗代町総合体育館カメリーナをスタートゴールに開催する予定であります。

本大会は、町と福島陸上競技協会、福島民報社、福島民友新聞社の 4 団体が主催し、ゼビオ株式会社の特別協賛を得て開催するものであります。

大会コースは、磐梯山と 猪苗代湖が織りなす、雄大で美しい景観を満喫することができることから、昨年は、県内外から約 3 千人の参加者があり、本年は昨年以上の参加者を見込んで準備を進めております。

さて、本大会が、毎年 2 月に開催される「東京マラソン」の「提携大会」に選ばれました。

これは、東京マラソン財団が、2020 年の東京オリンピックに向けたマラソンの啓発啓蒙に寄与することを目的に作られた事業であり、各都道府県で開催されている大会から各都道府県 1 大会を選定し、提携するものであります。

このことは、名実ともに本大会が県を代表する大会であることが意義付けられたものであり、大いに歓迎するものであります。

この提携により、本大会の県内参加者で上位成績者か

ら男女各10名、計20名に東京マラソンの参加出場権が与えられることとなります。

「猪苗代湖ハーフマラソン」を「提携大会」にふさわしいものとするため、更なる「町民挙げての応援」と「おもてなし」に努めてまいる考えであります。

本大会をとおして、東日本大震災による未曾有の被害に加え、深刻な原発問題を抱え困難に直面している福島県の風評被害を払拭し、福島県の安全・安心、そして優雅な自然や美しい風土を日本全国のみならず世界に向けて発信し郷土の復興につなげてまいりたいと思っております。

「スポーツ振興宣言の町」として、今年も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（提出議案）

最後に、本定例会に提出いたしました議案について申し上げます。

提出いたしました案件は、
平成２５年度決算の認定案件が３件
平成２６年度補正予算案件が１３件
条例の一部改正案件が４件、
条例の廃止案件が１件
人事案件が１件の計２２件であります。

まず、認定第１号「平成２５年度猪苗代町歳入歳出決算の認定について」であります、
一般会計及び特別会計に係る決算書と「平成２５年度決算にかかる主要な施策の成果実績概要書並びに基金運用状況報告書」と、
監査委員の「平成２５年度猪苗代町各会計決算及び各基金運用状況審査意見書」並びに、
「平成２５年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、会計管理者に説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

次に、「認定第2号 平成25年度猪苗代町病院事業会計決算の認定について」及び

「認定第3号 平成25年度猪苗代町水道事業会計決算の認定について」であります、それぞれの決算書と監査委員の「歳入歳出決算の審査意見」と「平成25年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、保健福祉課長及び上下水道課長に説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

次に、同意第1号「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」であります、

猪苗代町教育委員会委員

「土屋 保則（つちや やすのり）氏」が平成26年9月30日をもって任期満了となりますので、

猪苗代町大字磐根字西久保732番地

鈴木 兵市 氏

を適任と認め、任命したいので同意を求めるものであります。

以上、提出案件につきまして、ご説明申し上げましたが、各議案の細部につきましては、それぞれ所管の課長に説明いたさせますので、慎重にご審議のうえ、速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。